

1. 高橋沙奈美、『ソヴィエト・ロシアの聖なる景観——社会主義体制下の宗教文化財、ツーリズム、ナショナリズム』北海道大学出版会、2018年
2. 高橋沙奈美、「よみがえる宗教——民族的伝統としての正教と正教民族としての記憶」下斗米伸夫編『ロシアの歴史を知るための50章』、明石書店、2016年、担当部分 300-305頁
3. Такахаси С. Социология религии в Японии// Энциклопедический словарь социологии религии/ Под ред. М. Ю. Смирнова—СПб., Платоновское философское общество, 2017. С. 389-391. (高橋沙奈美、「日本における宗教社会学」Yu. Смирнов編監修『宗教社会学百科事典』サンクト・ペテルブルグ、2017年)
4. 高橋沙奈美、「レニングラードの福者クセーニヤ——社会主義体制下の聖人崇敬」『宗教研究』第91巻、第3号、2017年、25-48頁
5. 高橋沙奈美、「ボリシェヴィキの対ロシア正教会政策とその帰結——国教関係、教会外交、「生きた宗教」」『ロシア史研究』第101号、2018年、47-60頁